

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)の
メールマガジン第136号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. これからの活動情報
3. コラム『組合のリーダーとして考えるリーダーシップ』帝塚山大学法学部 教授 黄ジンテイ 氏

1. トピックス

◆2021年度大学対抗交渉コンペティションの日程が決定しました。
詳しくは<2.これからの活動情報>にて。

◆年会費のお願い

2021年度(令和3年)会費請求のお知らせを今月中にメールでお送りします。
会員の皆様には、本年度も是非ご協力のお力添えをいただければ幸いです。
郵送請求をご希望の方は、お手数ですがご連絡くださいますようお願い申し上げます。

2. これからの活動情報

◆理事会・総会

弊法人の理事会・総会を6月にオンラインで開催予定です。日程が決まり次第、ご案内させていただきます。

◆第20回大学対抗交渉コンペティション

日時:2021年11月6日(土)・7日(日)
場所:上智大学(オンラインや一部実地開催になる可能性あり)
新たに、タシケント国立法科大学が日本語チームに参加予定です。

3. 今月のリーダーシップ情報 【コラム／column】

帝塚山大学 法学部
教授 黄 ジンテイ 氏

「組合のリーダーとして考えるリーダーシップ」

長らく「長」の付く役職から遠ざかっていたが、思いがけなく、3年前に、学園教職員組合の委員長に選ばれた。異国の地で組合活動のリーダーになることが予定外ではあったが、貴重な経験をさせてもらった。

長である以上、リーダーシップが求められる。もっとも、組合の長は、リーダーであっても、上司ではない。基本的に任意の加盟と脱退ができるという組織の性質上、組合活動はとりわけ民主的でなければならない。よってそのリーダーシップは、権限や役職に依存するものではない。仲間の共感と信認を得ることが重要であろう。

過去をそれほど経験していないのに語るのが生意気かもしれないが、組合活動は時代とともに変容していると思う。古参者と新任者の考えが異なる。若い年代ほど賃金よりも働き方に関心が高い。幅広い支持を受けるためには、何事につけ筋を通しながら、バランスの取れた舵取りで仲間の理解と共感を得なければならない。その上で、信認を得るには、舌鋒を研ぎ澄まし団交の場で交渉術を実践することも大切ではあろうが、皆のために行動するという奉仕の精神が何よりも求められると考える。

組織が異なればリーダーの姿も色々あって良い。各職場で多忙のため組合活動の担い手が減っている中、委員長を続投して3年目に入った。再選された以上、自分がやってきたことが間違っていないと信じ、今年もみんなの期待に応えるような働きをしたい。

情報募集中

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

本メールマガジンについて

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は
「配信不要」と明記して glea@npo-glea.org 迄ご連絡下さい。

=====
発行元：NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション

発行責任者：野村 美明

編集者：GLEA事務局 神谷留奈

(TEL) 070-6560-2633

(FAX) 06-6853-3081

(E-mail) glea@npo-glea.org

=====